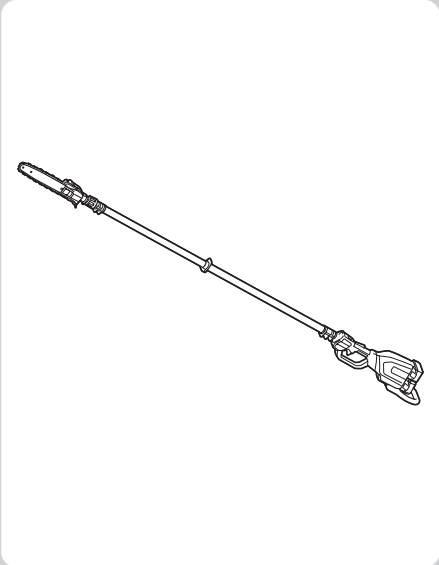
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

250 mm
充電式高枝チェンソー

モデル MUA251D



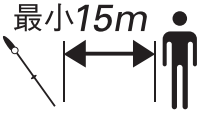
このたびは250 mm充電式高枝チェンソーをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

もくじ

シンボルマークについて …… 2
主要機能 …… 3
安全上のご注意 …… 5
充電式高枝チェンソー安全上のご注意 …… 13
各部の名称 …… 16
標準付属品 …… 17
別販売品のご紹介 …… 18
バッテリについて …… 19
ご使用前の準備 …… 21
・パイプの組み立て方
・チェーン刃の取り付け・調整および取りはずし方
・肩掛けバンドの取り付け方
・肩掛けバンドのフックのはずし方
・肩掛けバンドの取りはずし方
使い方 …… 30
・スイッチの操作
・モードの切り替え
・チェーンオイルについて
・充電式高枝チェンソーの持ち運び方
作業方法 …… 34
・切断作業
・樹木のせん定
・AFT 機能
保護機能 …… 37
・本製品およびバッテリの保護機能
故障かな？と思ったら …… 38
保守・点検について …… 39
・上刃および横刃の目立て
・デプスゲージの調整方法
・ガイドバーの清掃
・スプロケットカバーの清掃
・オイル吐出口の清掃
・スプロケットの交換
・本製品のお手入れ
・本製品の保管
・ご修理の際は

シンボルマークについて

・ 製品および取扱説明書にシンボルマークを記載しております。このシンボルマークの意味をご理解の上ご使用ください。

	ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。		保護メガネ、耳栓、保護帽などの保護具を着用してください。
	防振性のよい手袋、安全靴などの保護具を着用してください。		運転中、停止直後は高温部に注意してください。
	使用中は 15 m 以内に他の人や動物などを近づけないでください。		電線から 15 m 以内に近づかないでください。

主要機能

本製品

主要機能＼モデル		MUA251D
電動機		DC ブラシレスモータ
使用可能バッテリ（別販売品）		リチウムイオンバッテリ
		BL1820B（容量 2.0 Ah） BL1830（容量 3.0 Ah） BL1830B（容量 3.0 Ah） BL1840（容量 4.0 Ah） BL1850（容量 5.0 Ah） BL1850B（容量 5.0 Ah） BL1860B（容量 6.0 Ah）
電圧		直流 36 V（18 V × 2）
1 充電あたりの作業量 *1, *2		約 210 本（杉角材 100 mm × 100 mm）
チェーンスピード		0 - 20 m/s （0 - 1,200 m/min）
チェーンオイル	使用オイル	マキタ純正チェーンオイル
	タンク容量	0.16 L
	給油方式	自動
本製品寸法 *3 （長さ×幅×高さ）		2,779 mm ～ 4,011 mm × 155 mm × 191 mm
質量 *4		8.3 kg

*1：BL1860B 装着時の参考値です。
*2：材料の状態、チェーン刃の状態により異なります。
*3：チェーン刃、ガイドバー含む。
*4：BL1860B、チェーン刃、ガイドバー含む。

推奨バッテリアダプタ類

PDC01, PDC1200

・ 詳細は各バッテリアダプタ類の取扱説明書をご参照ください。

主要機能

チェーン刃

モデル 仕様	MUA251D
形式	25AP-60
ピッチ	1/4 インチ
ゲージ	1.3 mm
ドライブリンク数	60 枚

ガイドバー

モデル 仕様	MUA251D
形式	スプロケットノーズ
長さ （有効切断長さ）	250 mm （249 mm）
ゲージ	1.3 mm

安全上のご注意

JPA002-65

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「充電工具」は、充電式（バッテリパック式）の電動工具を示します。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリが短絡（ショート）する恐れがあります。
・ バッテリ内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
- 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
- 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

2. 安全保護具を使用してください。
- 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴･ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。

3. 不意な始動は避けてください。
- バッテリを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- スイッチに指をかけて運ばないでください。

4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
- 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。

5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 本製品を無理に押しつけず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

6. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

8. 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
- 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠警告

3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリを本製品から抜いてください。
- 本製品の調整
- 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
- 保管、または修理
- 充電工具から離れるとき
- 本製品の受け渡し
- その他危険が予想される作業

4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
- 充電工具や充電器からバッテリを抜いて保管してください。
- 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
- バッテリはバッテリカバーをつけて保管してください（バッテリカバー付きの場合）。

5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
- 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
- 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
- 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
- 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

バッテリに関する安全事項

1. バッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
- スイッチがオンの位置にあるときにバッテリを差し込むと事故につながります。

⚠警告

2. バッテリは専用充電器以外では充電しないでください。
・ ほかのバッテリ用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリ以外使わないでください。また、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しないでください。
・ 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリの端子部を金属などで接触させないでください。
・ バッテリを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリにバッテリカバーを必ず取り付けてください（バッテリカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
・ 万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
・ バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリは、火への投入、加熱をしないでください。
・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
・ バッテリを周囲温度が 50 ℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリ劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
・ バッテリ内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。
・ 損傷、または使用できなくなったバッテリは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
14. 使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
・ 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

⚠警告

15.バッテリは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
- 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
- 電力量は、バッテリ裏側の注意ラベルに記載されています。

16.使用中、使用後にバッテリが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。

17.バッテリに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
- 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
- 本製品、充電器、バッテリを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
- アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
  ＜異常・故障例＞
  - 本製品やバッテリが異常に熱い。
  - 本製品やバッテリに深いキズや変形がある。
  - 焦げくさい臭いがする。
  - ビリビリと電気を感じる。
- スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
- 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。

4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
- 爆発や火災の恐れがあります。

5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
- ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
- 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

6. 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

9. 正しく充電してください。
- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ラベルに 発電機 の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 周囲温度が 10 ℃未満、または周囲温度が 40 ℃以上ではバッテリを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

⚠警告

10.充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
- 感電の恐れがあります。

11.充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
- 誤動作や故障する恐れがあります。

12.充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安
- 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm^2	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式高枝チェンソー安全上のご注意

JPB306-3

先に充電工具としての共通の注意事項を述べましたが、充電式高枝チェンソーとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 本製品を雨中や湿気の多い所で使用したり、放置しないでください。
   - 故障や感電、けがの原因になります。
2. 本製品は右手でリヤグリップ、左手でフロントグリップを確実に保持し、体重が両足にかかるように適度に足を開いて使用してください。その際、グリップ部は常に乾いた状態にし、手が滑らないようにしてください。
   - 確実に保持していないと、作業中にバランスを失い、けがをする恐れがあります。
3. チェーン刃は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。
   - 誤った取り付け方をしますと、ガイドバーからチェーン刃がはずれ、けがの原因になります。
4. ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。
   - 本製品がはね返り（キックバック）けがの原因になります。
5. 使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部、切りくずなどに手や顔などを近づけないでください。
   - けがの原因になります。
6. 雨上がりなど足元が滑りやすい場所、および急傾斜地では使用しないでください。また、ハシゴに乗っての作業や、木に登っての作業など不安定な場所では使用しないでください。
   - 転倒してけがの原因になります。
7. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
   - そのまま使用していると、けがの原因になります。
8. 誤って落としたり、ぶつけたときは、チェーン刃、ガイドバーや本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
   - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
9. バッテリアダプタの使用時は、コードが足や障害物に引っかからないように注意してください。
   - コードが引っかかると、けがの原因になります。
10. 作業中は常にヘルメット、手袋、保護メガネ、耳栓を着用し、履物は滑りにくい安全ぐつを着用してください。
    - けがの原因になります。
11. チェーン刃は、正しく目立てしてください。
    - 特にデプスゲージの寸法が大きくなりすぎますと、本製品のはね返り（キックバック）発生の危険性が高くなります。
12. 肩掛けバンドは取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
13. 切断した枝の落ちる方向に十分注意してください。
    - 枝が落ちてきて思わぬけがをすることがあります。

⚠ 警告

14. ガイドバー、チェーン刃の取り付け、チェーンオイルの自動給油量を調整（調整機構がある場合）するときは、必ず本製品の電源を切り、バッテリを取りはずしてから行ってください。
- 電源が入ったままですと、不意にチェーン刃が回りだすなどして事故の原因になります。

15. ガソリン、ガス、塗料、接着剤など引火性のあるものの近くでは、使用しないでください。
- 火災の恐れがあります。

16. 延長パイプの取り付けは１本までです。２本以上は取り付けないでください。
- 制御が効かなくなり、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 使用しないときは、バッテリをはずしてガイドバーにカバーをして刃物がむき出しにならないようにした後、お子様の手の届かない所に保管してください。
・ けがの原因になります。

2. スイッチを入れるとき、チェーン刃が材料やほかのものに当たっていないことを確認してください。
・ 本製品が引っ張られたり戻されたりして、けがの原因になります。

3. 枝を下側から切り上げていきますと、枝の重みで切り口が狭まり、チェーン刃が枝に挟まれて取れなくなります。また、下側に切り込みを入れずに上側から枝を切断すると、裂けて仕上がり面が悪くなります。

4. チェーンカバーが取り付いた状態で本製品を起動しないでください。

5. 本製品を作動させたまま床などに放置しないでください。
・ 事故の原因になります。

6. 寒いときの休憩や昼食時には暖をとり、身体の保温に心がけてください。

7. チェーン刃を取り扱うときは、手袋を着用してください。
・ けがの原因になります。

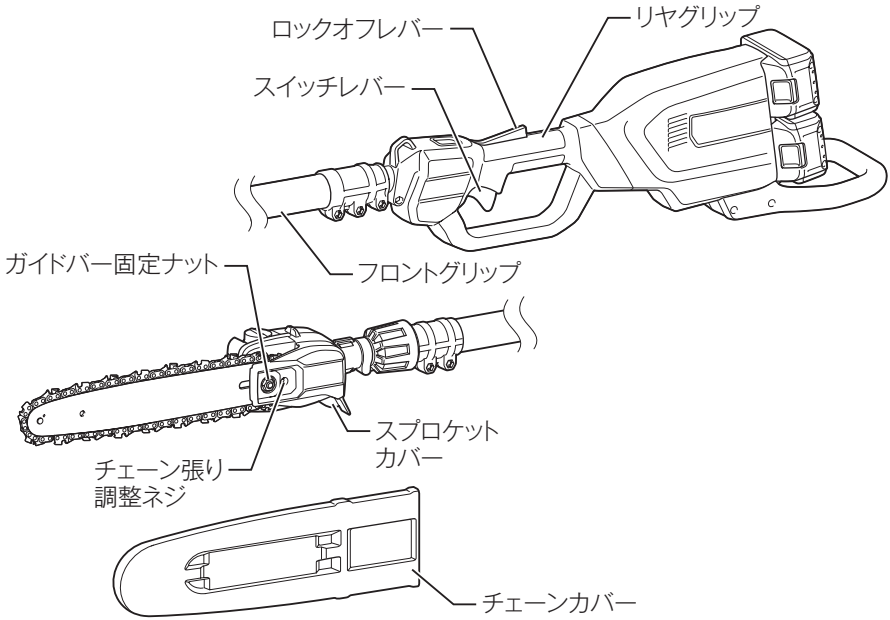
8. 使用中は半径 15 m以内に他の人や動物などを近づけないでください。また 2 人以上で作業を行うときは、お互いに 15 m 以上の間隔を取り、監督者を置いてください。使用中、15 m 以内に他の人や動物などが近づいた場合は、直ちにスイッチを切り作業を中止して注意をうながしてください。
・ 不用意に他の人や動物などを近づけると、飛散物が当たるなど思わぬ事故の原因になります。

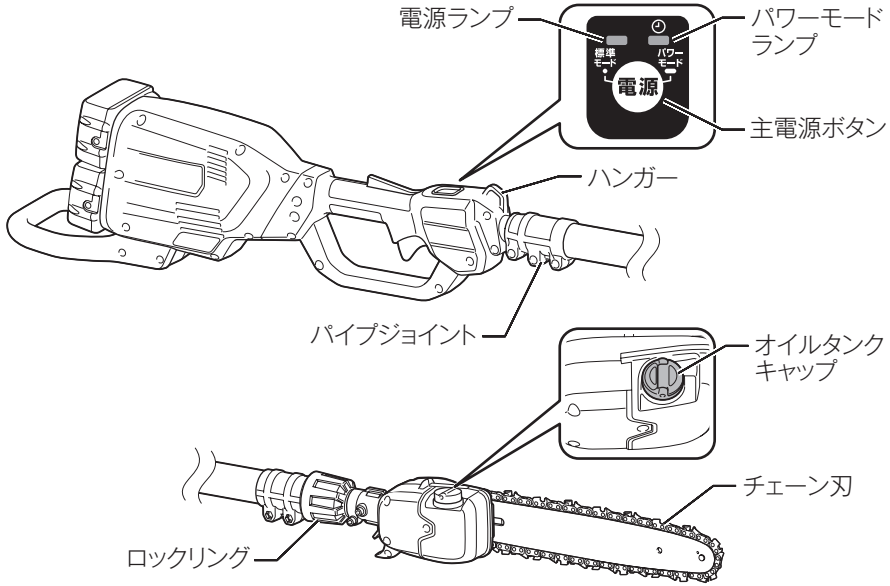
9. 本製品には感電防止の絶縁処理はなされていません。感電の恐れがありますので電線から 15 m 以上離れて作業してください。

10. チェーン刃は、常に良い切れ味で使用してください。切れ味の悪くなったチェーン刃は目立て、または交換をしてください。

11. 風窓を手でふさいで使用しないでください。右手はリヤグリップ、左手はフロントグリップ、それぞれ両手でしっかりと握ってください。作業はパイプの傾きが 60 ° 以下になるように保持してください。

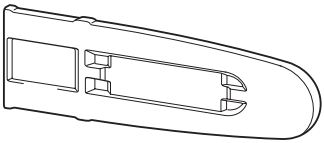
各部の名称


ロックオフレバー
リヤグリップ
スイッチレバー
ガイドバー固定ナット
フロントグリップ
スプロケット
カバー
チェーン張り
調整ネジ
チェーンカバー

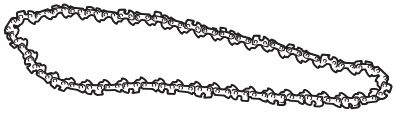

電源ランプ
パワーモード
ランプ
標準
モード
パワー
モード
電源
主電源ボタン
ハンガー
パイプジョイント
オイルタンク
キャップ
チェーン刃
ロックリング

標準付属品

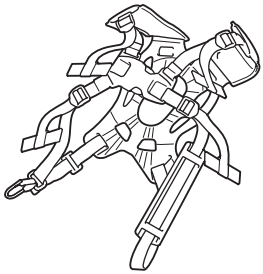
・チェーンカバー



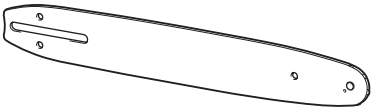
・チェーン刃



・肩掛けバンド



・ガイドバー



・チェーンオイル

・ボックスレンチ13

・丸型ヤスリ4

・保護メガネ

・六角棒スパナ4

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

・ バッテリ BL1820B（容量 2.0 Ah）
部品番号：A-61715

・ バッテリ BL1830B（容量 3.0 Ah）
部品番号：A-60442

・ バッテリ BL1850B（容量 5.0 Ah）
部品番号：A-59900

・ バッテリ BL1860B（容量 6.0 Ah）
部品番号：A-60464

・ 肩掛けバンド
部品番号：127642-6

・ チェーン刃 25AP-60
部品番号：A-42743

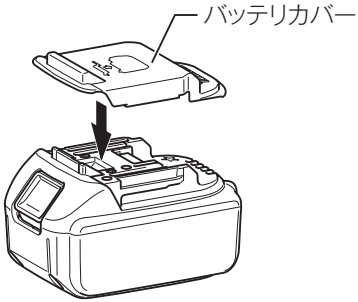
・ ガイドバー（250 mm スプロケットノーズ）
部品番号：161887-6

・ 角度変更アタッチメント
部品番号：A-75079

バッテリについて

バッテリについて

・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
・ 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。
・ 使用しないときは本製品からバッテリを抜いて保管してください。



バッテリを長持ちさせるには

・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は周囲温度 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
・ 使用直後などの熱くなったバッテリは、少し冷やしてから充電してください。
・ 長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

バッテリについて

バッテリの取り付け・取りはずし方

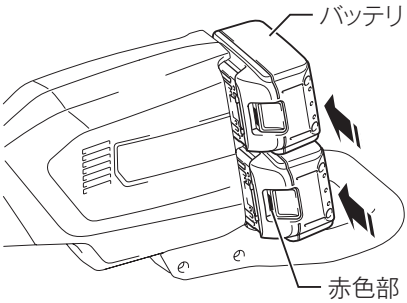
⚠ 警告

本製品にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。
・ スイッチを入れたままバッテリを差し込むと、事故の原因になります。

バッテリは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。
・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

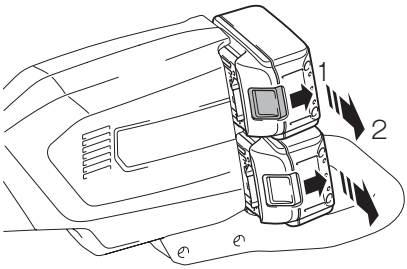
取り付け方

・ バッテリを本製品の溝に合わせ、赤色部分が見えなくなるまで差し込みます。



取りはずし方

・ バッテリのボタンを
1. 矢印方向に押しながら
2. 引き出します。



注

・ BL1820B（別販売品）では、主要機能の性能が発揮できません。
・ 必ず充電済みのバッテリ２本を取り付けてください。
バッテリが１本の場合やバッテリ２本のうち片方が充電されていない場合はスイッチが入りません。

パイプの組み立て方

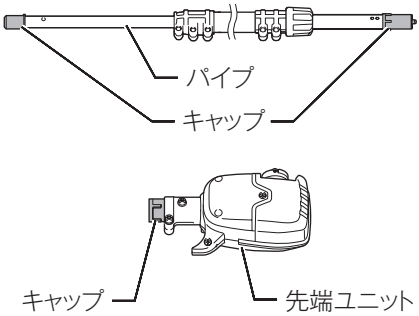
⚠ 警告

組み立てる前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。また、バッテリをはずしてください。
チェーン刃には素手で触れないでください。
チェーン刃を触る場合には手袋をしてください。

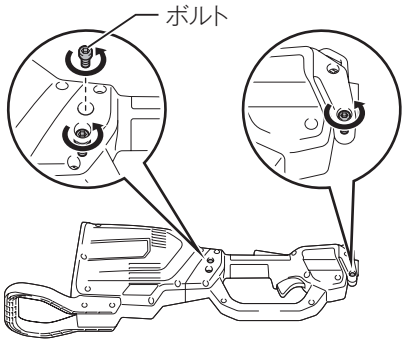
⚠ 注意

パイプの組み立ての際は、付属の六角棒スパナ 4 を使用してください。

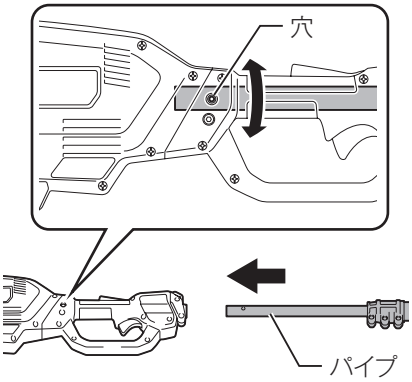
1. パイプと先端ユニットのキャップを取りはずします。



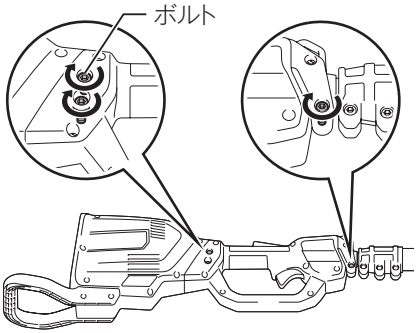
2. 本製品の 3 本のボルトを六角棒スパナ 4 でゆるめ、はずします。



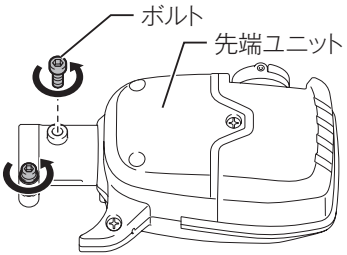
3. パイプを本製品に挿し込みます。その際、パイプを少し回転させながらパイプの穴と本製品の穴を合わせます。



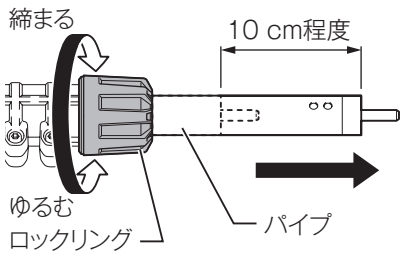
4. 3本のボルトを六角棒スパナ4で締め付けます。



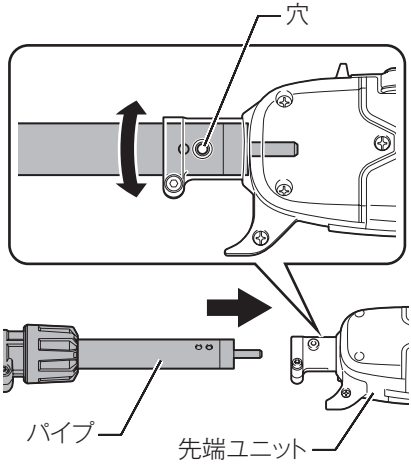
5. 先端ユニットの2本のボルトを六角棒スパナ4でゆるめ、そのうち1本のボルトをはずします。



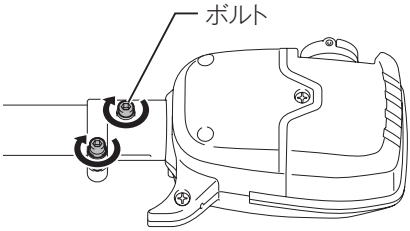
6. ロックリングを矢印方向に回してゆるめ、パイプを10 cm程度伸ばします。パイプを伸ばした後、ロックリングを締めます。



7. パイプを先端ユニットに挿し込み、パイプを少し回転させながら先端ユニットの穴とパイプの穴を合わせます。

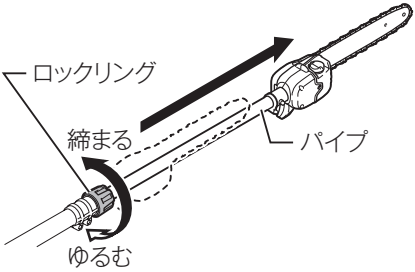


8. 2本のボルトを六角棒スパナ4でしっかりと締め付けます。



パイプの長さの調整

・ パイプの長さが足りないときは、ロックリングをゆるめてパイプを伸ばします。
調整後、ロックリングを締めて固定します。



チェーン刃の取り付け・調整および取りはずし方

⚠ 警告

チェーン刃の調整およびチェーン刃の取り付け、取りはずしの際は、必ず電源を切り本製品よりバッテリを抜いてください。

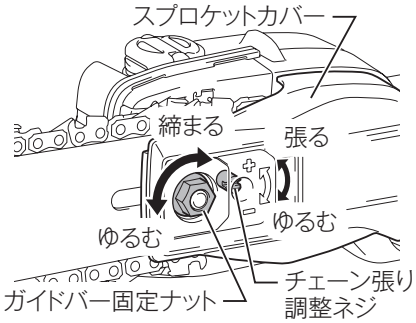
・ バッテリを本製品に差し込んだまま行うと、事故の原因になります。

⚠ 注意

チェーン刃の調整およびチェーン刃の取り付け、取りはずしの際は、必ず手袋をはめて行ってください。

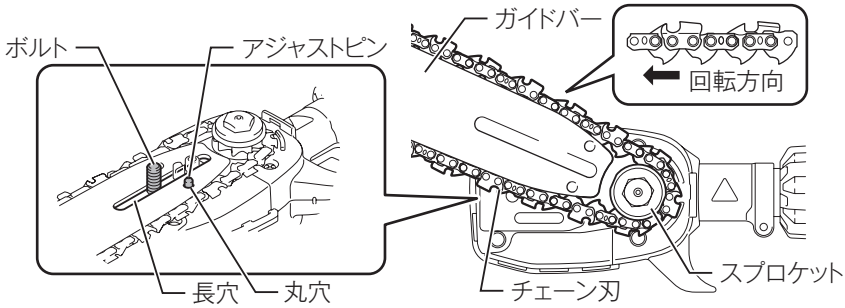
・ けがの原因になります。

チェーン刃の取り付け方



1. ボックスレンチ 13 を使用してガイドバー固定ナットをゆるめ、スプロケットカバーを取りはずします。
2. ガイドバーのレール溝にそってチェーン刃をガイドバーに取り付けます。
3. チェーン刃をスプロケットにかけながら、ガイドバーを本製品にセットします。

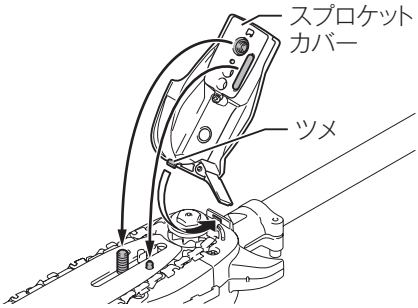
・ この際、ガイドバーの長穴と丸穴を、本製品のボルトとアジャストピンそれぞれを合わせて取り付けてください。
・ チェーン刃は矢印方向に回転しますので、チェーン刃を図のようにセットしてください。



注

・ **チェーン刃をスプロケットにかける際に、ピッチが合っていることを確認してください。**

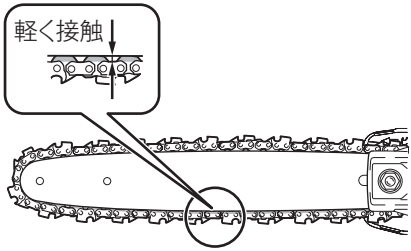
4. スプロケットカバーのツメを本製品の溝に入れ、アジャストピンと本製品のボルトをスプロケットカバーに合わせて取り付けてください。



5. ボックスレンチ 13 を使用してガイドバー固定ナットを仮締めします。
6. ガイドバーの先端を軽く持ち上げながら、チェーン張り調整ネジをボックスレンチ 13 を使用して、ガイドバー底部にチェーン刃が軽く接触する程度にチェーン刃の張りを調整します。
   チェーン張り調整ネジは図のように（+）側に回すとチェーン刃の張りが強くなり、（−）側に回すとチェーン刃の張りが弱くなります。
7. チェーン刃の張り調整完了後、ガイドバー固定ナットをしっかり締め付けます。

注

- チェーン刃の張りすぎは、ガイドバーの摩耗やチェーン刃破損の原因になります。必ず適正な張りに調整してください。
- ガイドバー底部にチェーン刃が軽く接触する程度に調整してください。



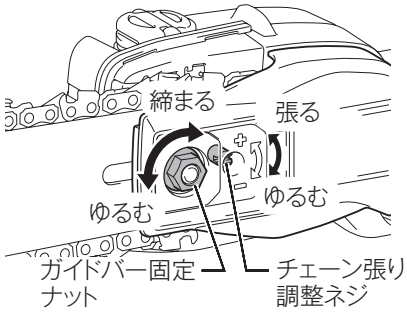
- チェーン刃が新しいうちは伸びやすいので、チェーンの張りをこまめに調整してください。
- チェーン刃の張り方がゆるいときは、チェーン刃がガイドバーからはずれる原因となります。
- ガイドバーは両面使用できます。ガイドバーのかたよった摩耗を防ぐため、新品のチェーン刃に取り替えるたびに、ガイドバーを反転してご使用ください。

チェーン刃の調整

⚠ 警告

チェーン刃は、必ず適正な張りに調整してください。
・ 張り方がゆるいと、ガイドバーからチェーン刃がはずれ、けがの原因になります。

1. ボックスレンチ 13 を使用してガイドバー固定ナットを少しゆるめます。
2. チェーン刃の張りを調整します（手順は 25 ページ参照）。

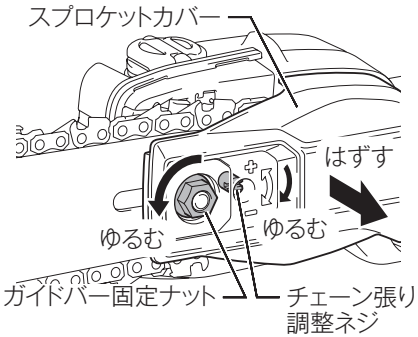


3. ガイドバーの先端を軽く持ち上げて、ボックスレンチ 13 を使用してガイドバー固定ナットをしっかり締め付けます。

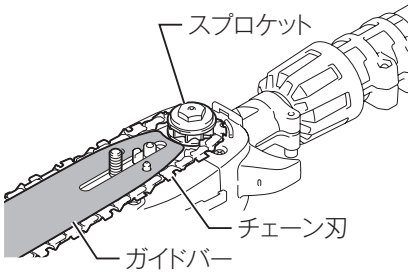
・ チェーン刃にたるみがないことを確認してください。チェーン刃をガイドバー中央付近で軽く持ち上げて前後にスムーズに動かせるぐらいが目安です。

チェーン刃の取りはずし方

1. ボックスレンチ 13 を使用してチェーン張り調整ネジを（－）側いっぱいに回してチェーン刃の張りをゆるめます。
2. ボックスレンチ 13 を使用してガイドバー固定ナットを完全にゆるめ、スプロケットカバーを取りはずします。



3. ガイドバーとチェーン刃をスプロケットから取りはずします。



肩掛けバンドの取り付け方

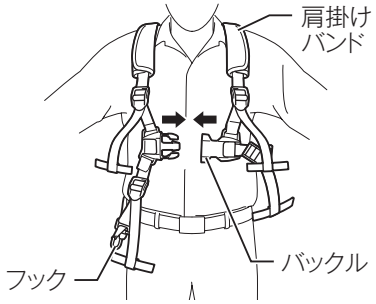
⚠ 警告

肩掛けバンドを確実に取り付けてから使用してください。
必ず肩掛けバンドを着用してください。
・ 肩掛けバンドを取りはずして作業するとけがの原因になります。

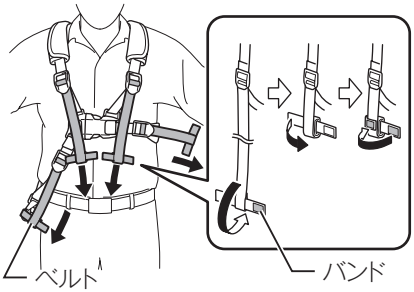
注

- ポータブル電源ユニットを使用する場合を除き、付属の肩掛けバンドを本製品に確実に取り付けてご使用ください。
- ご使用の前に、使用される方の体格に合わせてバンドの長さを調節してください。体格に合わない長さで使用すると、疲労の原因になります。
- ポータブル電源ユニットなどの背負い式電源装置と組み合わせて使用する場合は、推奨するハーネスをご使用ください。
- 推奨するハーネスについては、当社カタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 推奨以外のハーネスを使用すると、緊急時にポータブル電源ユニットなどの背負い式電源装置や、本製品をはずすことができないことなどにより、けがの原因になります。

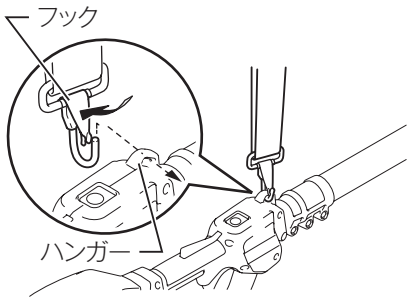
1. 肩掛けバンドを着用し、バックルを接続します。



2. 適度な長さになるよう、ベルトの長さを調節し、右図を参考に余ったベルトをバンドでまとめます。
フックおよびバックルを引っ張って抜けないことを確認してください。

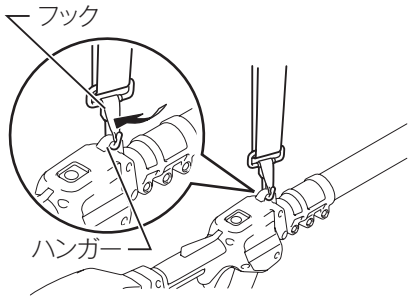


3. 肩掛けバンドのフックを本製品のハンガーに取り付けます。
・ 取り付け後、フックを引っ張って抜けないことを確認してください。



肩掛けバンドのフックのはずし方

・ 肩掛けバンドのフックを本製品のハンガーからはずします。



肩掛けバンドの取りはずし方

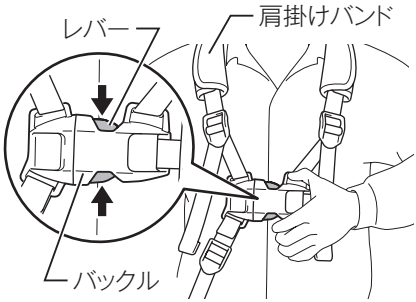
⚠ 警告

取りはずしのときは、本製品の支持に細心の注意を払ってください。

⚠ 注意

肩掛けバンドをはずす際は、片方の手で本製品を保持し、もう一方の手でバックルをはずしてください。

・ 肩掛けバンドにあるバックルのレバーを強く押して肩掛けバンドをはずします。



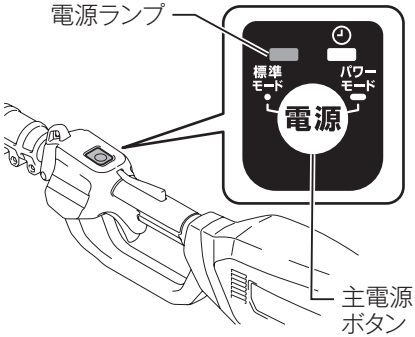
⚠ 警告

主電源ボタンを入れる際は、必ずロックオフレバーを放し、スイッチレバーから指を放してください。

・ スイッチレバーを引いたまま行うと、事故の原因になります。

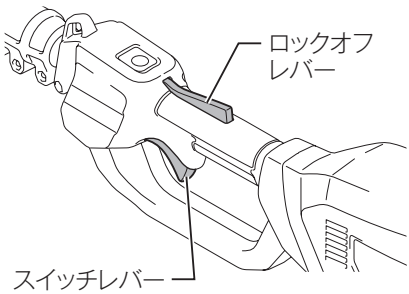
スイッチの操作

1. 主電源ボタンを押すと電源が入り、電源ランプが点灯します。
   もう一度押すと電源は切れます。



2. スイッチの「入・切」は、電源ランプが点灯している状態で行います。

・ スイッチは、ロックオフレバーを握った状態でスイッチレバーを引くと入り、放すと切れます。
・ スイッチレバーの引き加減により、回転数が変動します。



注

・ **電源ランプが点滅したときは、下記の誤った操作をしたことをお知らせしています。正しい手順をご確認の上、操作してください。**
  ・ ロックオフレバーとスイッチレバーを引いた状態で主電源ボタンを押す。

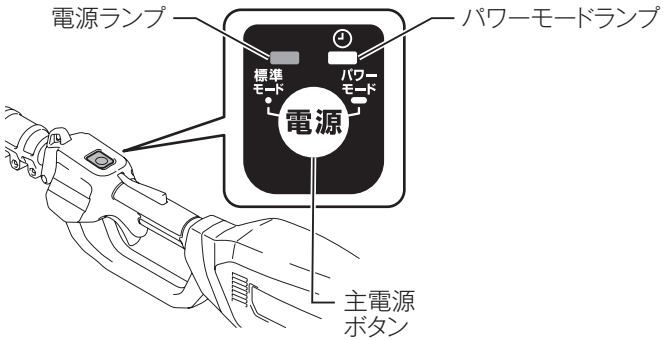
・ **本製品は、下記の条件で自動的に電源が切れる機能を備えています。**
  ・ 電源を入れた後、約 60 秒間ロックオフレバーを握らない。
  ・ 電源を入れた後でロックオフレバーを押さえても、スイッチレバーを約 60 秒間引かない。
  ・ ロックオフレバーを放してから、約 60 秒間ロックオフレバーを握らない。

使い方

モードの切り替え

・ 本製品には標準モードとパワーモードがあります。

モード	主な用途	電源ランプ	パワーモードランプ
標準	一般的な切断作業	緑色 点灯	―
パワー	太い枝や堅い枝の切断作業	緑色 点灯	緑色 点灯



パワーモードの操作

・ 電源オフの状態から、主電源ボタンを長押し（2 秒以上）して電源を入れます。
・ 起動した後、60 秒で自動的に標準モードに戻ります。また、60 秒以内でも過負荷作業を繰り返すと自動的に標準モードに戻ります。

注

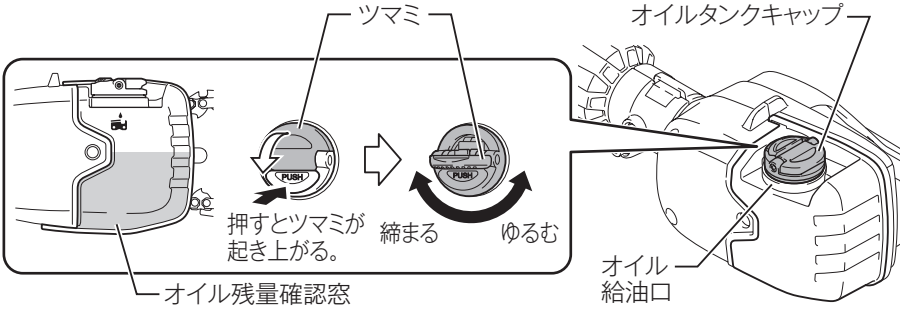
・ **パワーモードランプが緑色に点滅した際は、パワーモードは使用できません。この場合は次の方法をお試しください。**
  1. 約 10 秒の経過後、再度主電源ボタンを操作してください。
  2. 上記で解消しない場合は、バッテリを充電するか、もしくは満充電バッテリに交換してください。
  3. バッテリを交換しても点滅が解消しない場合は、標準モードに切り替え、バッテリが空になるまで使い切ってから、充電を行ってください。
  4. 上記の方法を行ってもパワーモードが使用できない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
・ **電源ランプが赤色点滅や赤色点灯した際は、37 ページを参照してください。**

⚠注意

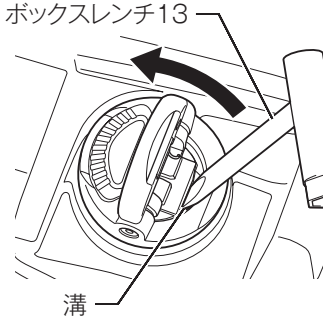
お使いになるときは、オイルタンクにチェーンオイルを入れてください。
チェーンオイルは、マキタ純正チェーンオイルまたは市販の専用チェーンオイルをお使いください。
ゴミなどの混入したオイルおよび揮発性のオイルは絶対使用しないでください。

チェーンオイルについて

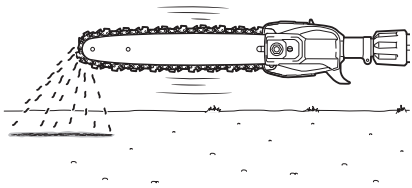
- 使用前に必ずオイルタンクにチェーンオイルを入れてください。
- 作業中もオイルタンク内のチェーンオイル残量を確認し、少ない場合は補充してください。
- チェーンオイルの補充はオイル給油口のキャップを取りはずして入れます。容量は約 0.16 L です。



- キャップがゆるまないときは、ボックスレンチ 13 の先端を溝に入れて回してください。
- 補充後はキャップを元通りに閉じます。

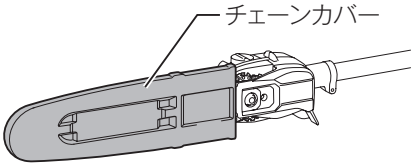


- 補充後、木から離した状態で本製品の電源を入れ、チェーン刃にオイルが適切に行き渡るまで作動させます。
- チェーンオイルはチェンソーを運転すると自動的に給油されます。



充電式高枝チェンソーの持ち運び方

・ 必ずバッテリをはずしてチェーンカバーをガイドバーにかぶせ、パイプを縮めてください。



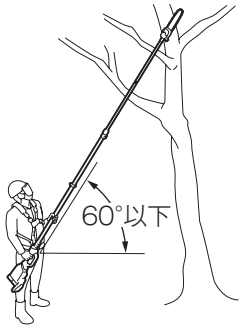
⚠ 警告

使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部、切りくずなどに手や顔などを近づけないでください。
・ けがの原因になります。

使用中は、右手でリヤグリップ、左手でフロントグリップを確実に保持してください。
・ けがの原因になります。

はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。
・ けがの原因になります。

切断する枝の真下付近には決して立たないでください。真下に落ちることもありますし、他の枝や地面にはね返って思わぬ方向に落ち、作業者にあたってけがをする恐れがあります。
周りの人は 15 m 以内には近づけないようにしてください。
本製品には感電防止の絶縁処理はなされていません。感電の恐れがありますので電線から 15 m 以上離れて作業してください。
作業はパイプの傾きが 60° 以下になる位置に立って行ってください。

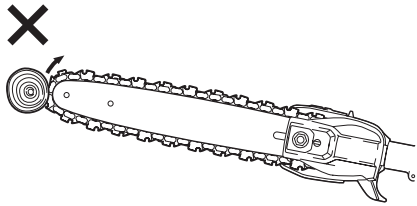


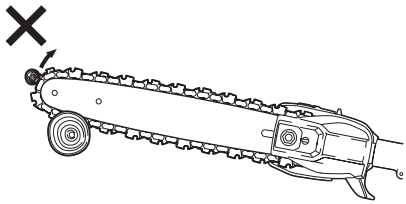
落ちてきた枝が作業者のほうに落ちる場合もありますので、足場のしっかりした、もしもの場合に逃げやすい場所に立ってください。

⚠ 警告

ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないよう作業してください。

・ 本製品がはね返り（キックバック）、けがの原因になります。





作業時には帽子またはヘルメット、防護メガネ、防振手袋、耳栓、安全ぐつ、長そで、長ズボン、さらに粉じんや切粉が多く健康を害する恐れがある場合には防じんマスクを着用してください。

切断作業

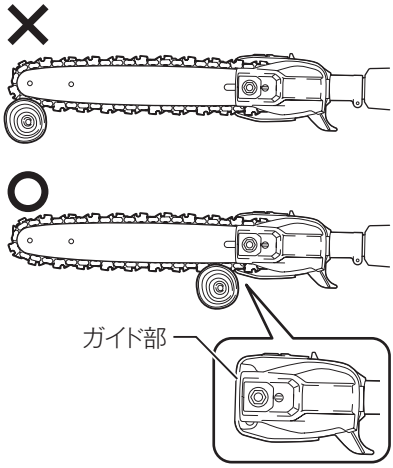
・ 本製品を動かし、チェーン刃を軽く枝に押し当てて切ります。
・ 回転数が低い状態で枝に強く押し当てて作業すると切断能力が落ちます。

注

・ チェーン刃を枝に強く押し付けて切ると、疲れるばかりでなく、チェーン刃やガイドバーの摩耗を早めます。
・ チェーン刃を枝に強く押し付けないと切れない場合は、切れ味が低下していますので研ぎなおすか、新品のチェーン刃と交換してください。
・ 切断作業終了時は本製品が枝に支えられなくなるため、制御するために本製品を両手で支える必要があります。

樹木のせん定

・ ガイド部に枝を軽く押し付け、チェーン刃を枝より離して製品を動かし枝を切断します。
・ 枝が落ちやすいように下の枝から順に切断してください。



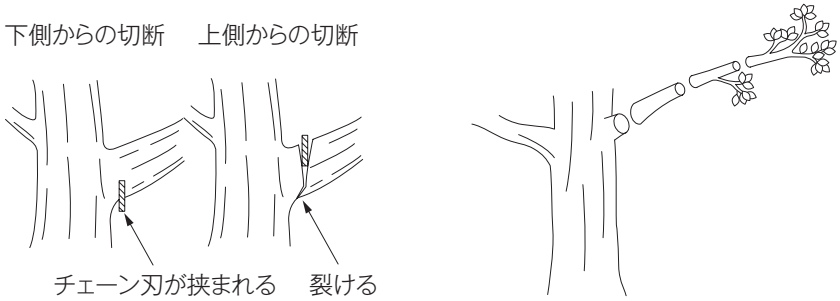
注

・ ガイド部に枝が接していないと本製品がガイド側に引っ張られ、刃先がブレますので注意してください。

・ 太い枝をせん定するときは、①枝の下側に切り込みを入れてから、②上から枝を切断します。

注

・ 枝を下側から切り上げていきますと、枝の重みで切り口が狭まり、チェーン刃が枝に挟まれて取れなくなります。また、下側に切り込みを入れずに上側から枝を切断すると、裂けて仕上がり面が悪くなります。
・ 切断した枝の落下位置を制御しやすくするために、長い枝は先端から短く分けて切断してください。



AFT 機能

・ キックバック（はね返り）時の急激な回転低下を検知して自動停止し、電源ランプが緑色点滅します。
本製品が自動停止したときは、いったんスイッチレバーを放してください。
ガイドバーの先端部が枝に触れていないことを確認し、再度スイッチレバーを引いてください。

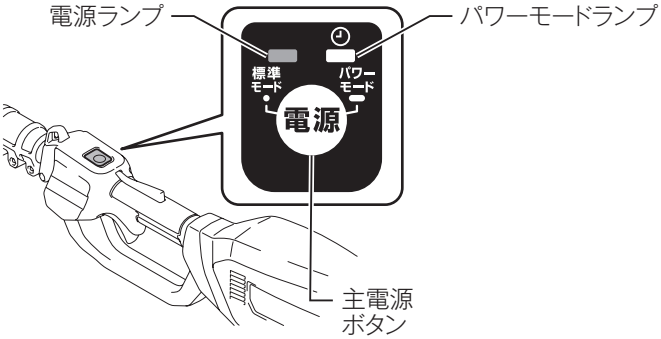
注

・ AFT はキックバックそのものを防止するものではありません。

保護機能

本製品およびバッテリの保護機能

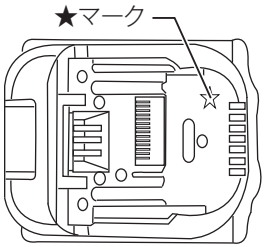
本製品を使用中、電源ランプが下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。



電源ランプ	パワーモードランプ	保護機能
赤色点灯	—	**本製品が高温になるとモータが自動停止します。** ・ 使用を中断して本製品よりバッテリを取りはずし、本製品を冷ましてください。
赤色点滅	—	**バッテリの容量が少なくなるか、高温になるとモータが自動停止します。** ・ 使用を中断して本製品よりバッテリを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。
—	緑色点滅	**パワーモードが使用できません。** ・ 詳細は 31 ページ参照。
緑色点滅	—	**本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。** ・ いったんスイッチを放し、本製品よりバッテリを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

★マークについて

図のようにバッテリに★マークがあるバッテリは保護機能を搭載しています。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※1 が働き、本製品またはバッテリが機能停止している可能性があります。

解消方法

主電源ボタンを OFF にして、再度 ON にしてください。

↓ 解消しない

バッテリを充電するか、充電済みのバッテリと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

チェーンオイルの量を確認して足りない場合は補充してください。※2

↓ 解消しない

チェーン刃の張りを調整してください。※3

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※ 1 保護機能については 37 ページ参照。
※ 2 チェーンオイルについては 32 ページ参照。
※ 3 チェーン刃の調整については 26 ページ参照。

・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリ、充電器を一緒にお持ちください。

保守・点検について

⚠ 警告

点検･整備の際には必ず電源を切り､バッテリを本製品から抜いてください。

・ バッテリを本製品につないだまま行うと、事故の原因になります。

⚠ 注意

点検・整備の際には必ず手袋をはめて行ってください。

・ チェーン刃に手が触れ、けがの原因になります。

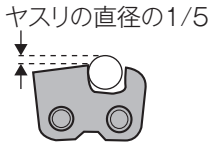
上刃および横刃の目立て

⚠ 警告

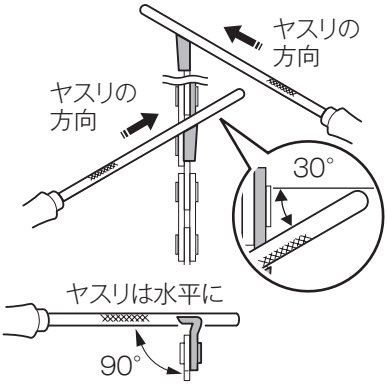
チェーン刃は正しく目立てしてください。

・ 特にデプスゲージ寸法が大きくなりすぎますと、チェーン刃が切断しやすくなり、けがの原因になります。

・ ガイドバーに対して丸ヤスリを 30°傾け、丸ヤスリの直径の 1/5 が上刃より出るようにチェーン刃に当ててください。



・ 丸ヤスリの水平を保って、押すときだけヤスリをかけ、手前に引くときは刃部にヤスリを当てないようにして、上刃および横刃の目立てをしてください。



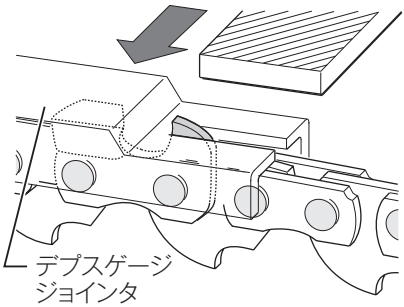
注

・ **刃部の目立てには、外径が 4 mm（呼び 5/32 ″）の目立て専用丸ヤスリを使用してください。**

デプスゲージの調整方法

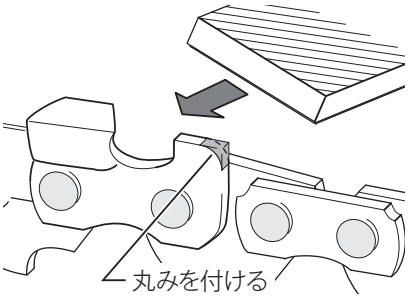
・ デプスゲージはチェーン刃の切り込みしろを適正（0.64 mm）に保つためのものです。

1. 別販売品のデプスゲージジョインタを図のようにセットし、溝から出た部分を平ヤスリで削り落とします。



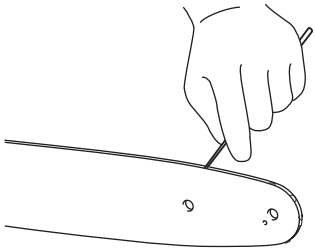
2. デプスゲージの角に丸みを付けてください。

3. デプスゲージの調整が終わりましたら、オイルに浸して切り粉を洗い落としてください。



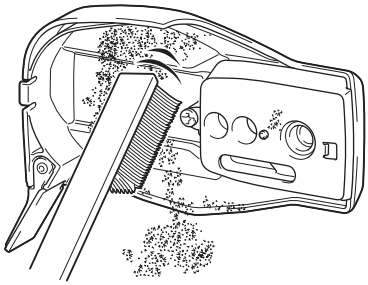
ガイドバーの清掃

・ご使用中に、切りくずがガイドバーにつまることがあります。切りくずがガイドバーの溝につまると、チェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなります。チェーン刃を目立てや交換するときに、ガイドバーの溝に入った切りくずを除去してください。



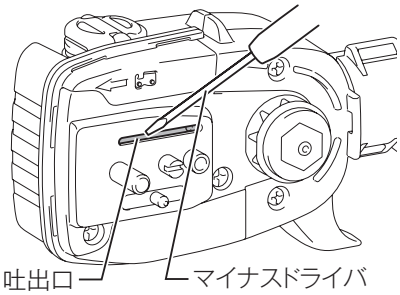
スプロケットカバーの清掃

・スプロケットカバーの内側に、切りくずがたまります。負荷が高くなる原因になりますので、ブラシなどで切りくずを除去してください。



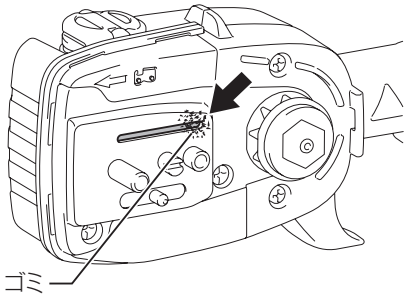
オイル吐出口の清掃

・ ご使用中に細かなゴミが吐出口につまることがあります。
・ ゴミが吐出口につまるとチェーンオイルの吐出量が少なくなりチェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなる恐れがあります。
・ マイナスドライバの先端などで吐出口のゴミを取り除いてください。



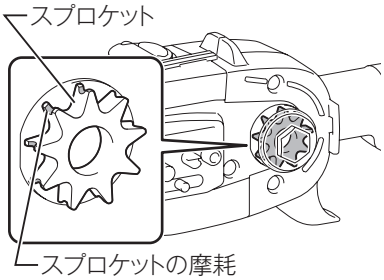
・ ガイドバー先端からのチェーンオイルの吐出が少なくなった場合は下記手順で吐出口の清掃をしてください。

1. バッテリを本製品から抜きます。
2. スプロケットカバー、チェーン刃を取りはずします（24 ページチェーン刃の取り付け・調整および取りはずし方の項目参照）。
3. バッテリを本製品に差し込み、電源を入れます。
4. スイッチレバーを引いて本製品のオイル吐出口にたまっている細かなゴミをチェーンオイルで洗い流します。
5. バッテリを本製品から抜きます。
6. スプロケットカバーとチェーン刃を本製品に取り付けます。



スプロケットの交換

・ チェーン刃を交換するときにはスプロケットの状態を確認してください。
・ スプロケットの状態がイラストのように摩耗している場合、スプロケットの新品交換を当社営業所にお申し付けください。



⚠ 警告

保管の際には必ず電源を切り、本製品よりバッテリを抜いてチェーンカバーを取り付けてください。

本製品のお手入れ

・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

・ 水洗いは絶対にしないでください。
  ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

保守・点検について

本製品の保管

・ チェーン刃、ガイドバーを取り付け、しばらく空転させ、チェーン刃、ガイドバーにオイルを付着させてください。
・ チェーンカバーをガイドバーにかぶせてください。
・ オイルタンク内のオイルを抜いてタンク内を空にしてください。
・ パイプを最短状態に縮めてください。
・ 本製品はスプロケットカバー、チェーン刃、ガイドバーに付着したチェーンオイルや内部に残留したチェーンオイルが流れ落ちることがありますが、異常や故障ではありません。
・ チェンソーを置く場合は、オイルが付着してもよいものを下に敷いてください。
・ 長期保管する場合は、オイルタンク内のチェーンオイルを抜き、オイルが付着してもよい場所にチェンソーを置いてください。

ご修理の際は

・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

メモ

メモ

メモ

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

881F17F6
IWT